

北本マリナーズ

北本マリナーズというチームの考え方

私たちの少年軟式野球チーム「北本マリナーズ」は、2001年に創設のまだ若いチームです。

私たちのチームの規約には、以下のような条文があります。

第2条(組織): 本少年団は、小学生とその保護者及びサポーター(支援者)をもって組織する。

第3条(目的): 少年軟式野球を通じ、運動の場を確保し、体力、健康維持に努めながらも、広く技術向上に努め団員及び後援会の親睦を図る楽しみの場とする。

この条文には、私たちのチームが、ただ試合に勝つことや野球をうまくなることだけを目標としているチームではないことが表現されています。

私たちのチームの主役は、団員とその保護者(親)です。監督やコーチは、団員の野球の技術向上のため、サポーターとして無償で、積極的に参画してくれています。

私たち親は、後援会を組織し、子供が、野球を好きで、うまくなりたい、勝ちたいと思って、活動していることに対して何ができるかを、親たちみんなで考え、実行し、喜びや悔しさを分かち合う運営・活動をしています。その一生懸命に活動している事に対し、監督やコーチも手弁当で支援してくれているのです。

公式試合参加は、高学年中心になってしましますが、低学年の団員たちも、レギュラーの試合や練習をみて、「早く試合に出たい! もっとうまくなりたい!」と思って、一生懸命、練習に来ます。そうすると、その親たちも練習の協力や試合の応援に来て、がんばる強い子供たちの姿を目にします。それにより、一層、練習の手伝いや、運営の手伝い、試合の応援に、つつい仕事そっちのけで、熱くなって、一生懸命になってしまうのです。

近年は、北本市の大会だけでなく、県大会や桶川、鴻巣などの近隣の大会でも、常に上位に顔を出すことが出来てきています。強さも団結力も楽しさも1番のチームになることが、チームの目標です。

大林監督からのメッセージ

野球は、確実に一人一人にステージ(舞台) = 打順が回ってきます。

私は、その舞台で子供たちにのびのびと、打たせたい!!...そう、このチームにはバントはありません。

犠牲バントやリスクの高いスクイズなど、大人の指図(サイン) = 意図による強制は、中学以上で良いと考えています。

小学生には、チャンスで打って、舞台上で輝き、喜びを体験させることが最良であると信じています。



監督	大林 旭		
コーチ	岩田 秀雄、西山 和直		
スコアラー	細田 高夫		
初代 後援会代表	羽部 安志	主将	羽部 恭平
第2代 "	原 保夫	主将	原 親功
第3代 "	大空 歩	主将	大空 大地
第4代 "	佐々木 智憲	主将	佐々木 誠
第5代 "	服部 伸吾	主将	佐藤 健弥
第6代 "	関根 玲子	主将	関根 淳平
第7代 "	田中 康彦	主将	田中 将也
第8代 "	大塚 栄一	主将	鈴木 健太